



第133回 かわさき起業家オーディション 「かわさき起業家優秀賞」受賞

認知症と介護を予防する オンライン運動サービス「eコグニケア」



株式会社Moff

代表取締役社長
土田 泰広

日本のシニア世代には「寝たきりになりたくない」「認知症になったらどうしよう」といった不安を抱えている方が多くいます。実際、通院や介護が必要ない“元気高齢者”は、日本では5人に1.5人しかいないと言われており、医療・介護保険に年間30兆円もの費用がかかっているというデータもあります。しかし、身体機能や認知の衰えを早めに把握し、適切な対応をすれば、かなりの方がそれを予防できるのです。

当社は、認知症と介護の予防に向けたシニア向けのオンライン運動サービスを提供しています。創業者の二人は大阪のハッカソンで出会って意気投合し「ウェアラブルデバイスを使って楽しく体を動かせるサービスをつくろう」と、2013年に会社を立ち上げました。そして、リストバンド型デバイス「Moffバンド」を開発しました。はじめは子ども向けの商品として発売し、楽しみながら運動できる画期的なスマートトイとして話題になりました。

現在はターゲットをシニア層にシフトし、この「Moffバンド」を使って楽しく健康寿命を伸ばしていただくことを目指しています。医療や介護にかかる負担を減らし、元気なシニア世代を増やしていくことが私たちの目標です。

■受賞したビジネスに至った経緯

創業時から開発に取り組んだリストバンド型の「Moffバンド」は、もともと子ども向けのスマート玩具として生まれたデバイスでした。その後、Moffバンドの新しい可能性を探っていたところ「このデバイスはシニア世代の運動とも相性が良さそうだ」という意見が出てきました。

高齢化社会を迎えている日本では、寝たきりや認知症のため、介護を必要とする人が増えています。しかし介護予備軍といわれるシニア世代の方の多くは、自分の身体や認知機能の衰えに気づいていません。ある日突然、転んで骨折してしまう。そして寝たきりになってはじめて「こんなに筋力が落ちていたのか」と認識するのです。そうなる前のどこかの段階で適切な対応ができれば、認知症も介護も、かなりのケースで防ぐことができます。

そこで私たちは、Moffバンドを使ったシニア向けサービスの開発に着手しました。最初に取り組んだのは、介護施設に特化したリハビリ支援サービスです。Moffバンドを入居者さんの腕や足に装着してもらい、活動結果を見える化しながら、介護現場でのリハビリをサポートするものです。このサービスは全国500以上の施設に導入いただくことになりました。

そして、新たな課題の発見にも繋がることとなります。「介護状態になってからでは遅い。その前段階で運動を促し、介護を予防できるような仕組みをつくるのが大事なのではないか」ということです。その矢先に、新型コロナウイルスの流行が始まりました。

感染対策のために自宅から出られない日々が続く中、危惧していたのは「シニア世代の運動機能の低下」です。そんな折、ある自治体から「自宅に閉じこもっているシニアの体力向上のためにMoffバンドを使えないか」という相談を受けました。私たちも今後のサービス展開を模索していた最中だったので「ぜひやりましょう」ということで、シニアに向けたオンライン運動プログラムの実証実験を開始することになったのです。

このサービスは、利用者の満足度が非常に高く「体力が向上した」「もっと続けたい」など、喜びの声をいただくことができ、本格的なサービスの展開に取り掛かることになりました。これが「eコグニケア」の誕生の経緯です。

■サービスの特徴

「eコグニケア」は、Moffバンドを身に着けて自宅からオンラインで参加する、シニア向けの運動サービスであり、国立大学法人神戸大学の認知症予防推進センターとの共同事業です。認知症予防や体力向上のための運動プログラム、デジタル体力測定、オンライン認知機能検査、大学教授による健康セミナー、栄養士や理学療法士への個別相談などを提供しています。

オンラインによる運動プログラムは、ゲームやフィットネスなど、さまざまな形で普及していますが、当社の「eコグニケア」の最大の強みは、エビデンスに基づく認知症予防や生活習慣病予防、ロコモティブシンドローム予防のプログラムが自宅で行われることと、自分の体の状態や動きが「見える化」されることにあります。

オンラインの運動プログラムには、どうしても「正しく動いているだろうか」「ちゃんと効果があるのだろうか」など、ユーザーの不安が拭えず、なかなか継続できないといった課題があります。「eコグニケア」は定期的にMoffバンドを身体に装着することで手軽に自分の身体機能が確認できるデジタル体力測定や、病院並みの認知機能測定をオンラインを通じてご自宅で行うことができ、その結果をレポートにまとめて「見える化」しているため、継続のモチベーションを保つことができます。はじめたばかりのときは年齢相応の体力値だった方も、1カ月、2カ月と続けていくうちに、どんどん身体年齢が若返っていることが数字で見えて分かる。それ

が大きな喜びとなり、続ける意欲になっているようです。

また、参加者同士やスタッフ、専門家とコミュニケーションが可能なことも当サービスの特徴です。FUNミーティングのような交流イベントやオープンチャットの機能がありますので、同世代の方と悩みを共有したり、自分の撮った写真をアップしたりすることを楽しみにしている方もいます。いわば参加者のサードプレイスのような役割も果たしているのです。こうした社会的なつながりをつくることも、認知症や介護の予防において高い効果を発揮しています。

■現状の課題

「eコグニケア」をスタートしてから2年ほど経ちますが、月次で98%という高い継続率を維持しています。一度利用された方にはたいへん満足いただいているものの、このサービスを周知し、実際に利用していただくまでのハードルは、まだ高いと感じています。

今は自治体を通じて当サービスを知っていただくことが多いですが、今後さらなる拡大を目指すためには、さまざまな角度からのアプローチが必要になってくるでしょう。そのために今後力を入れていこうと考えているのは、他企業との連携です。例えば大手携帯電話ショップが行っているシニア向けのスマホ講習会や、薬局などの空きスペースで「eコグニケア」を普及させる紹介してもらうなどの方法を考えています。

■今後の展開

現在は認知機能と身体機能の向上に特化したサービスですが、今後は栄養面のサポートも追加していく予定です。食品メーカーとの連携で、健康食品、サプリメントを提供し「体」・「頭」・「食事」を包括的にサポートできるサービスとして拡大していくことを目標としています。さらにオンラインだけでなく、リアルでも参加できる運動プログラムも立ち上げ、オンライン・リアルの両方に参加できるハイブリッド型のサービスにしていきたいとも思っています。

また、もう一つの目標は、医療領域への進出です。例えば脳卒中から回復された方に向けたリハビリプログラムや、膝関節症のリハビリ治療などに、私たちのオンラインサービスを使っていただける仕組みを確立したいと考えています。そして、ゆくゆくは保険適用される遠隔リハビリサービスにすることを目指していきます。

■エントリーを検討中の方へ一言

今回、応募してとても良かったと感じています。それは、賞をいただいたという結果だけではなく、応募書類やプレゼン資料の作成を通じて、かなり綿密な事業計画をまとめることができたからです。自分たちのビジネスプランを今一度見直し、頭の中を整理するととても良い機会になりました。また、各段階の審査の後には審査員の方から客観的な意見をいただいたり、受賞後には協業できそうな企業さんを紹介していただいたりと、さまざまな面からサポートしていただきました。

何よりも133回も開催されているビジネスコンテストは、全国でもそうはありません。最近はやったようなものではなく、実績も歴史もあるオーディションですから、自社のビジネスが通じるか腕試しのつもりでチャレンジしてみてください。

会社名：株式会社Moff

住所：〒108-0073

東京都港区三田1丁目3-40

天翔オフィス麻布十番101

電話番号：☎050-5306-0210

ホームページ：https://jp.moff.mobi/